連盟ニュース 神奈川　４月

No.507

「厳冬期の旭岳」（**川崎労山**　村山　研）

事故一報」の送付先をお知らせします。

＊「事故一報」の全国・県連へ迅速な連絡＊

全国窓口：労山基金制度運営委員会メール kikin@jwaf.jp/FAX03-3235-4324

県連窓口：遭難対策部メール及び基金申請書は、ホームページの連盟員のページから

神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0045　横浜市神奈川区神奈川２－１４－６　トーリクビル３階
http：//www.k-rouzan.net/
発行責任者　早川尚武
発行年月日　２０２３年４月１５日

４月号（Ｎｏ．５０７）　目　　次

地球環境の異常気象と私の登山（投稿）　――――――――――――――――――――　２
教育部及び救助隊主催講習会等に関するお知らせ　――――――――――――――――　３
救助隊２０２３冬季山行報告　――――――――――――――――――――――――――　４
３月１８日～１９日　救助隊・４雪崩救助搬出訓練　――――――――――――――――　５
定期理事会議事録（要約）　――――――――――――――――――――――――――――　８
事務局長会議議事録　――――――――――――――――――――――――――――――　１０
クリーンハイク実行委員会報告　――――――――――――――――――――――――　１２
東日本大震災ボランティア募集　――――――――――――――――――――――――　１３
クリーンハイク実施内容と募集　――――――――――――――――――――――――　１４
常任理事会議事録　――――――――――――――――――――――――――――――――　１６
『松本雪崩事故の真実』（泉康子著）の紹介　――――――――――――――――――　１７
各会の活動報告　――――――――――――――――――――――――――――――――　１８
県連のスケジュール　――――――――――――――――――――――――――――――　２２

地球環境の異常気象と私の登山(投稿)

川崎ハイキングクラブ　伊藤健司

私事ですが、６５歳で現役での仕事を終えたときに、これからのいわゆる自分のための「８万時間＝毎日１２時間×年３５０日×２０年」をどのように過ごすのか、に想いを馳せました。人生は長いのか、短いのか、気兼ねなく、やまを楽しむことできる生活に入ったかな、なんてことも思いました。

登山環境も、道具、装備が進化して、高齢者に優しい軽量、強靭、簡便化が進んでいます。移動手段も、高速道路、新幹線、飛行機の時代です。

しかし、私にとってはバスと電車での移動時間もたのしみ、ゆっくりと山に向き合い、山小屋、避難小屋に入る、テントで山の空気を五感で感じる、親しむことが、「登山道入口」からが登山でなく、日々の生活が山に繋がっている、そんな山人生を思い描きました。

しかし、地球環境の変化、異常気象には驚いています。

２０２２年のＣＯＰ２７に向けての科学者がまとめた報告書、国連ＩＰＣＣ（気候変動に関する政府間パネル）「１．５度特別報告書」では、２０３０年までに二酸化炭素の排出量を大幅に削減しなければ、気温上昇を産業革命前比で１．５度に抑えることは出来ずに、世界はさらなる異常気象に見舞われる、との報告がなされました。現実に日本を含めて世界でも「経験したことのない」豪雨や暴風、猛暑などの災害にさらされています。

私たちの活動する山岳地帯にも、豪雨により山に入れない、大型台風により倒木、土砂崩れにより登山道の通行が妨げられる、猛暑も頻繁に起こるようになり、日本各地で４０度を超えています。まして私の、残り少ない登山人生を思うと、焦りとともに恐ろしささえも感じます。ここ３年はコロナ禍もかさなり、計画した夏山登山の半数が中止になりました。

これらの事実は、一過性で情緒的、感情的な対応ではすみません、長期にわたる科学的な対応が必要ですし、解決には極めて政治的で、国際的な討議、合意、人類の未来を考える課題で、あらゆるレベルでの価値観に関わり、ひとり一人がどうすることもできない、しかしひとりひとりに日々の生活に確実に降りかかってくる課題です。

グレタ・トゥーンベリさんではないですが、“あんたたちいい加減しなさいよ！”と言いたくもなりますよね。
幸いに私たちの世代や多くの日本人は、直接の”戦争“には巻き込まれませんでしたが、長期にわたって”環境“の破壊をしながら、自分たちの生活の享楽に資してきたのは紛れもなく事実です。２０３０年というと、もうそんなには時間がありません。エコノミストの水野和夫さんは、「より遠く、より速く、より合理的に」という近代の理念が限界に達しているのだから、「より近く、よりゆっくり、より寛容に」が大事なのではないかと話されています。
これって、まさに“少子高齢化”に向かっている日本の方向性を指し示しているのでは、と考えませんか。

山の姿も、その見ている場所で随分と異なるものです。思考停止に陥らないで、少し観方、立ち位置を変えてみることも必要な時代が来ているような、気がします。
未来からの借りものであるという「自然」（地球環境）は、すこしでも良い状態にして繋いで、返したいものです。なにが、出来るのかを私自身の残りの時間の中で考えながら、行動に移していこうと思います。

たとえ明日、世界が滅亡しようとも今日私はリンゴの木を植える　（ルター）

教育部及び救助隊主催講習会等に関するお知らせ

４月１４日　神奈川県勤労者山岳連盟理事長　早川　尚武

各位
光陰の移ろうところ滞る事なく、新緑は日々その濃さを増していきます。春風渡る中、連盟員皆様方におかれましては、益々のご健勝の事とお慶び申し上げます。
以下、お知らせ事項がありますので、所属会皆様で情報共有の上、ご参加を呼び掛けるものです。関係者様のご対応お願い致します。

１．山岳講習協議会（以下協議会）参加の募集
教育部の補助組織として協議会を立ち上げ、教育部会と合同で運営の討議に参加して頂いております。部会は毎月第３木曜日２０時もしくは２１時よりＺＯＯＭにて開催。教育部の年間計画、直近の講習会の詳細事項とりまとめについて、意見や要望を出して頂きます。また、講習会のみならず、昨年は、交流集会開催に当たり企画、運営も執り行いました。この協議会につきまして、改めて連盟内に参加を呼び掛けるものであります。
参加要件は、会の教育担当者、もしくはそれに準じる方、もしくは会の代表者です。また、個人的に県連の教育活動に関心がある方、ご意見ご要望がある方でも構いません。ただし、年間を通して継続的に参加して頂く事を条件とします。都合により参加できない場合の代理出席は可としますが、協議会の主目的が、教育部の計画や方向性を確定させていくためである事を理解して頂くための条件であると認識して下さい。
協議会参加者への連絡は、協議会ＭＬにて行います。従って、メールアドレスをＭＬに登録させて頂きます。
年の途中参加も可とします。
申込みは下記メールアドレスよりご連絡下さい。件名は「協議会参加希望」として下さい。
所属会、氏名、ＭＬ登録用のメールアドレス、簡単なプロフィールをお知らせ下さい。
参加連絡用メールアドレス：bosyuu002@k-rouzan.net

２．救助隊主催講習会・合同訓練山行の予定

現時点までに策定した年間計画のお知らせです。教育部との連携、調整により、これに付加する場合もあります。

参加申込みにつきまして、講習会、合同訓練山行の都度、ご連絡します。

８月２７日（日）沢におけるセルフレスキュー　西丹沢鬼石沢にて
１１月２６日（日）岩場におけるセルフレスキュー　湘南鷹取山公園内（横須賀市）にて
３月１６～１７日（土・日）雪崩捜索救助搬出訓練、雪山登山訓練　場所未定

参加連絡用メールアドレス：bosyuu001@k-rouzan.net

１・２それぞれお問い合わせにつきましては、上記のメールアドレスよりご連絡下さい。
以上、宜しくお願い致します。

救助隊2023冬期山行報告

日　程：令和５年２月１８日～１９日
参加者：早川、久保、森、神谷、荒井、頓所、鍋野、谷山、井上

今年の救助隊冬期山行は西上州の神津牧場と荒船山の相沢氷柱群でアイスクライミング山行をおこないました。

初日に訪れたのは神津牧場。駐車スペースから３０分弱でインディアンサマー広場と呼ばれる場所に到着でき、その目の前にはアパッチ、シャイアン、１０ｍ右にはチェロキー、３０ｍ左にはリトルインディアンがそびえ立っている。それぞれのグレード（体感）はⅣ+～Ⅵ-程で、自分の技術に合った氷柱を登ることができるが、今シーズンは氷柱の育ちがあまり良くないため、例年に比べグレードは上がっているようだった。

前夜から出発し、近くで車中泊していた久保、森、鍋野の三氏は、朝早くから現地入りしており、シャイアンにて登攀（トレーニング）を開始していた。早朝発組はその隣のアパッチに取付き、この２箇所をメインのトレーニング場所とした。

ともにロープ１本しかセットすることが出来ないが、ドライミックスを含めそれぞれ３～４ルート登ることができた。

後発の早川車にて現地入りしたメンバーは渋滞に巻き込まれてしまい遅れての合流となってしまったが、到着後すぐ準備を済ませトレーニングを開始した。

この日は近くの相沢氷柱群は混雑していたようで、こちらへ転進してきたパーティーもあり賑わいを見せていたが、各メンバーはムーブを確かめながらトライしていた。

その日の夕食後、久保氏から昨年１０月出発したネパールヒマラヤ遠征の報告を聞き、初日は終了。

２日目は相沢氷柱群。

登山口出発直前に雨が降り始めてしまった。午前中は持ち応えるだろうとの見立てで、出発したが相沢大氷柱到着時には雨量も増してきていたし、氷もだいぶ融解が進んでいた。氷柱上部からは雨以上の水が流れてきていたため、注意して登らなければならなかったが、このような状況もトレーニングの一部と考えることもできた。

大氷柱下部は程よい傾斜でムーブを考えながらでも小気味良く登れるが、一段上がると傾斜が増し難しくなった。氷の状況とルートを見極めながら登り進めていたが、途中、相当の水量が上から降ってくる箇所があり全身ズブ濡れになってしまった。大氷柱は高さがあり登り応えがある分、１本登るだけで相当疲弊する。少しでも疲弊しないためには素早く登り、適度にレストを入れる必要があることを改めて感じた

素早く登るためには四点、三点支持で登るのではなく、ダイアゴナル要素を入れ二点支持で登っていくのが良いが、傾斜が増すと二点支持は腕への負担が増すため、三点支持が良い。上がる際は腕で身体を引き寄せてしまうと上半身が疲れてしまうため、足をしっかりと決めた上で、腕でバランスを取りながら立ち上がることを意識した。また、登攀中のレストについては、取り付いた後もルートを見極めながら登り詰めていくが、そのルート確認中にレスト出来るような体勢を作ることも意識していた。

今回、私を含め参加者９名と多く、皆のクライミングをじっくりと見させてもらい勉強することができた。また、普段は救助隊のメンバー同士で個人山行に行く機会はほとんど無く、今回のような山行時はお互いの信頼のうえに成り立っていること、そのうえでおこなう登攀前のロープの結びや安環カラビナ等の基本的な相互チェックや声掛けなどはやはり大切だと感じた。

3月18日～19日　救助隊･雪崩救助搬出訓練

【１日目】雪崩捜索救助搬出訓練　ａｍ雨、ｐｍみぞれ　外気温２℃前後　微風

昨年と同様、新潟県南魚沼の清津レイクサイドロッヂにお世話になる。

救助隊６名、参加者８名（藤沢山の会３名、山＋＋２名、川崎労山３名）が参加した。午前中は雨、宿のご厚意により早朝より室内にて救助搬出講習①-④となった。午後は屋外で雪崩捜索講習⑤-⑦。全て安全確認が取れていることを前提として、それぞれの手順を確認した。②と④については少しの違いで動きが変わる。要救助者役からも積極的な意見がでて、どちらにとってもより負担の少ない動きになった。全体を通して要救助者への声掛けや声出しが大切。①心肺蘇生　②体位変更　③外傷の確認　④搬送（ａドラッグ法、ｂヒューマンチェーン、ｃツエルト搬送）・保温、⑤ビーコン操作　⑥プローブ捜索　⑦掘り出し。

①心肺蘇生：周囲の安全確認→声掛け→意識・呼吸の確認→自力呼吸が確認できない、分からない（注：呼吸そのもの有無ではなく、呼吸が確認できるかどうか）→気道確保→ＣＰＲ（胸骨圧迫による心肺蘇生）開始

救助活動は、まず第一に周囲の安全確認、救助者の安全確認後に、捜索と救助活動に入る。また、雪崩事故の場合は要救助者の保温が大切。保温方法：要救助者の荷物も使って体をくるむ(地面側を厚く)・湯たんぽを作って当てる（プラティパス等にお湯を入れる）・意識があればお湯やお茶等温かい物を飲ませる（内臓に傷害を負っていないか注意）・風が当たると急速に体温を奪われる。スノーブロック、ツェルト等で防風対策をする。

②体位の変換：回復体位、仰向け→回復体位。俯せ→仰向け→回復体位。頸椎保護しつつ行う。救助者役と要救助者役を交代で両方行った。

③外傷の確認：仰向の姿勢から、要救助者の足先から触って確認。意識が有れば痛い箇所を教えてもらう。

④搬出：搬送方向の安全を確認してから移動。a～c 移動可能距離が良く分かった。

ａ ドラッグ法：移動可能距離数ｍ。１対１。要救助者の背中側、両脇下から腕を入れ片腕前腕部の手首、肘の下

を両手でつかみ、腰を浮かせ、自分の体重を利用して後ろへ引きずる。自分の腰を痛めないように注意。

ｂヒューマンチェーン：移動可能距離数十m。１対６。要救助者の左右に、３人ずつに分かれて向いの相手の手首をつかむ。先に要救助者の上で一度組んでバランスを確認する。頭側の人が号令、皆が相手の手首を掴めたか確認。一度立て膝位置まで持ち上げ、姿勢が良ければ立ち上がる。要救助者の足側から移動する。ただし、登り方向の場合は頭が先になる。

ｃツエルト搬送：移動可能距離数十m以上。１対6②で行った体位変換を用いて要救助者の下にツエルトを敷く。持ち手はツエルトを端から巻く方法とカラビナとスリングを使用した方法の２通り。

梱包：マットの代わりになるものを敷く。要救助者にハーネス等（スリングを使った簡易ハーネス等）を装着する。要救助者の落下防止の為。メインロープに直接確保する。カラビナをツエルトでくるみ、持ち手を作る。位置は足先、膝、腰、肩の位置。作る順番を左右同じにすればツエルトが片寄らない。スリングやロープとカラビナの固定はクローブヒッチ。要救助者の腕は胸の前で組んで軽く縛る。足首もスリングや靴紐で結んで固定する。そしてツエルトで要救助者をしっかりと包む。カラビナに取り付けた左右のスリングをシートベントで縛る。メインロープを、足先から順に左右の各カラビナに結束。要救助者に装着したハーネスにスリングを取付け、ツェルトの外に出し、メインロープに結束する。

⑤ビーコン操作：入山時送受信チェック手順を確認。機器の動作確認、実際の距離と表示距離の違いの有無の確認。ザックを要救助者に見立て、ビーコンを入れて埋設し捜索訓練実施。表示距離による動かし方や音の違い。自分の機器に習熟する必要がある。

⑥プローブ捜索：出し方と挿し方の説明。ラインプロービングを行った。要救助者に当たったら、「ヒット」と言う。一度当たったプローブは、掘り出して全体を確認するまで抜かない。他の救助者のプローブで身体の向きを探る。ビーコンの有無による発見の早さの違いを実感した。

⑦掘り出し：要救助者救護活動用のプラットホーム構築を念頭に置き、深さ+体の厚みの２倍程度離れて掘り出しを始める。埋めたザックを２列縦隊（Λ形より早い）でスコップにて掘り出す。頭部と胸部の掘り出し優先。プローブで確認した埋没深度に近くなったら、スコップで傷付けないように慎重に作業する。身体が見えたら手で掻き出す。全体が出せてから体を引き出す。この場所の雪質は湿っていて重く、実際の雪崩デブリの雪の感触に近く、掘り出しは良い経験になった。雪崩事故は毎年起きている。入山前から行動中まで天候を把握し、雪の状態を予測して、それに見合ったルートをとる。雪崩地形に入らない。入る場合は発生規模や雪崩の流路を考えて、被害が生じない行動をとる。予測しきれずに事故に遭遇してしまった場合でも、自助や共助で助かる命が増える。機会があるごとに訓練して身に着けていきたい。

【２日目】タカマタギ　晴れ　５℃前後　微風　救助隊５名、参加者６名

7：45 登山口 554m発→　8：20 取付 600m→　8：45 690m8：55→

10：17 1040m10：35→　12：10 棒立山 1420m→

13：10 タカマタギ 1520m13：20→　13：55 棒立山→　15：00 1040m→

14：10 1300m14：20→　15：55 700m16：05→　16：20 取付→　16：45 登山口

尾根を歩く。埋まる深さは足首から膝下位。一部フカフカ腰下ラッセル。クラックや、ツリーホール等落とし穴があった。快晴の中、山頂に立った。見渡してみて、気になっていた名前の由来がよく解った。景色は素晴らしかった。山行中向いの山の斜面の変化部に雪割れや雪しわ等の全層雪崩の予兆があった。この時期は普段斜面の雪にどのような力が加わっているか分かりやすく勉強になる。谷に雪崩跡があった。次回どこから落ちてどのくらいの規模か等よく観察したい。現地の雪の状態を体感できるのはとても良かった。２日間良い訓練になりました。ありがとうございました。

報告　カモの会　谷山　智子

参加者の感想

会でもビーコン操作の練習はしたが、プロービングや掘り出しの手順など学べたのは良かった。重く湿った雪の掘り出しはとても大変だ。２日目は絶好の春山日和の中タカマタギ山頂まで行くことが出来た。歩きながら他

の会の方と情報交換したり、救助隊の方には小さなことでも質問や疑問など丁寧に教えていただいた。経験豊富な方々に同行させてもらいとても有意義な山行だった。
藤沢山の会　O

本格的な雪崩訓練は初めてで、たいへん為になりました。梱包、搬送は結局クライミングと共通のロープワークが必要で要復習という感じなので、行ったメンバーで確認がてら復習したい。２日目は読図のコツを教えてもらいながら登れ、いろいろな人と交流ができて有意義でした。睡眠不足でクラクラしていたけれど、無事にタカマタギまで行けてよかった。（藤沢山の会　N）

私は、雪崩訓練には参加できず、夕方から合流しました。夕食後の交流会では、５月以降の講習会ついて話し合いました。山岳講習協議会には参加していますが、Ｚｏｏｍ会議と違い、直接顔を合わせる事で、意思疎通が深まりました。安全な登山を目指すために必要な講習や、読図も机上・実技と実施して頂けると聞き、どのような登山にも大切な基礎なので、会にも広め、共に学んでいきたいと思います。
２日目のタカマタギ山には、救助隊員５名と、やま＋＋２名、藤沢山の会４名の合計１１名が参加しました。快晴で暖かく雪が緩んで踏み抜きやすい所あり、穴を避けながら高度を上げ、急登を越え、予定時間はオーバーしていましたが、タカマタギ山頂までたどり着けました。藪があり雪山でしか行けない、人がいない静かな山でしたが、トレースはスノーシュー一人分の跡しかなかったので、救助隊の先頭は大変だったと思います。私は他の人より体力がないので、間が空いた時も隊長が前方に声をかけたり、隊員の人からも温かい言葉やフォローもして頂き助かりました。（藤沢山の会　K）

プロービング、掘り出し訓練を体験出来たのは有意義でした。だが、実際には雪崩にあった人を救出するのは困難と思うのでリスクを避ける山行計画にする事が大事と思った。またタカマタギ山行はかなりのゆっくりペースで８・７キロを９時間もかかった。後半、トップが大変そうで時間もかかりましたがセオリー通り、先頭を交代しながらの方が良いのではと思った。これからも県教育部雪山登山訓練があるとするなら（タカマタギは初級訓練だと思うので）中、上級の訓練をやって欲しいです。（藤沢山の会　T）

お世話になりました。毎度大変分かりやすく解説して頂き有り難うございます。座学だけでなく、実際手足を動かしてみる事も大事だなと感じました。
色々とご都合あったと思いますが、もう少し早い時期に実施できたら確かに良かったですね。今後とも宜しくお願い申しあげます。
川崎労山　M

川崎労山の雪崩講習は弱層テストやビーコンを埋めて探し当てるという簡単ものでプローニングや埋没者を想定した掘り出しまではしません。その意味では得る物の多い有意義な訓練でした。当会はバックカントリーをやる人が多いためスキーやスノーボードを装着した状態でクレパスや雪崩にはまった場合を想定して、どのような体勢で埋まっていても埋没者の救出と同様板からブーツの着脱がスムーズにできる練習の必要性も感じました。（川崎労山　S）

雪崩からの捜索、掘り出しは机上で習ってはいましたが、実際に掘り出す作業はやったことがなかったので大変勉強になりました。プロービングの仕方や、掘り出す大きさ、順番に掘り進めるなどイメージとは違っていた部分もあり実際に体験できて良かったです。みんなで協力しながら行うので、共通認識で作業できるように会のみんなにも是非勧めたいと思いました。救助隊の講習は、講師の方たちが充実してるのでこまめに教えてもらえるので助かります。（川崎労山　E）

第３８期下期　定期理事会議事録【要約】

日時：　３月１２日（日）１０時～１６時
会場：新日本スポーツ連盟（神奈川県勤労者山岳連盟）

司会　　岩田　　（藤沢山の会）
議長　　植田　　（地平線の会）
資格審査　　佐藤　修（川崎ＨＣ）

〇開会宣言　司会岩田
〇議長団選出　推薦により植田氏（地平線の会）選出

【議事】　議長　植田
〇資格審査　佐藤
　定員２６名中　出席１１名、ＺＯＯＭ出席２名、
　委任状７名　２０名過半数で理事会は成立

〇はじめに　早川理事長
　いかに組織として存続させていくか、高齢化ということもあり全国的にも衰退化しているという憂慮がある。そんな中で神奈川県連としては平均年齢がまだまだ若いと言っても大きな会が脱退したこともあり５００人をわずかに超えた人数で推移している。一部の会では増員しているという声も聞こえてくるが、会としてなかなか発展していかない、力を落としているという声も聞こえてくる。ハイキング系の高齢化が著しい。そんな中で組織としていかに力を出し高く分かち合える互助互恵の精神で進めたい。
　専門部の活動方針について、具体的なことは記載していない。大筋のところは記載しているが、まずは皆さんの意見を聞き討議して決めていきたい。

１事務局部
・事務局長会議の参加者について質疑。９～１０の会からはほぼ出席。出席が無い会５会ある。
・議案書資料で、加盟している会、会員数の推移表について質疑。過去何年間分を記載するのが妥当か。討議の結果、５年間分とする。
・会員募集方法について意見交換。ホームページやＳＮＳ等が多い。また、山の店に掲示させてもらったポスターを見て入会する人もいる。ホームページについて、専門業者に依頼して有償で作成した会（相模アルパインクラブ）があった。
２救助隊・教育部
・山岳講習協議会を発足させて、教育部の活動に取り入れている。それを踏まえて、教育部の活動の展望はどの様なものか。昨年度に比べるとかなり教育体制が変わった。他会との交流が講習を通じて広がった。これからも勉強は勉強でやりながら他会との交流を深めていくことも大切。また、昨年は交流集会が開催された。好評であったようだが、何故小川山したのか知りたい。また、クライミングについて参加者のグレードが示されたのは何故か。
　小川山であれば、金峰山のハイキングもできる事。また、近くに宿泊施設があり、参加者の集会が開催できるので、小川山とした。クライミングのグレードを付けた理由は、あくまで交流会であって、講習会ではない事による。ある程度の参加条件を付けないと、クライミング交流会の意義が薄れてしまうためである。
・読図講習会について。予想以上に読図ができないと感じた。今後も教育部として力を入れて取り組みたい。

３自然保護委員会
・クリーンハイク
　マンネリ化しているので参加したくないという意見がある。クリーンハイクは守りの姿勢。地球温暖化等大きな視点で県連としても自然保護に向き合うべきではないか。川崎ハイキングでは毎月地球環境についての記事を載せている。
　自然保護委員会としてもグローバルな視点立ってどう向き合うか、対象が大きすぎて考え話し合う準備が出来ていない。私たちのできる範囲で身近なところでできる丹沢に恩返しをスローガンに進めている。マンネリ化に対しては私たちも感じているがクリーンハイクは無くしてはいけない、啓発活動として進めたい。旗を持って歩くことで山をきれいにという考えを知ってもらいたい。山小屋に泊まるにしても、泊まることによって山の状況を見て知る。植樹活動にしても国、件に参加して協力して進めていく。グローバルな活動については考慮中。
・環境保全に対して委員会での取り組みは何か
　自分たちが身近なところで感じて、自然保護活動をしてきた。里山観察や山小屋泊まりもその一環である。

３８期上期会計決算報告
・決算について
　問題点指摘無し
・県連保有資産について
　救助隊装備表提出
　通信機材等を資産表にまとめて記載する事とする。

Ⅱ号議案　下期活動方針

事務局

・事務局長

事務局長不在が続いているが当面この状態が続く。好ましい状態ではないが現状としてはそれなりに機能している。各自業務を分担して機能している。今後も安定して事務局長会議を継続して開催していきたい。

・県連ニュース

内容を充実させるため、山行記等積極的に投稿を呼びかける。

・組織関係

加盟団体調査票は随時提出とし、会役員等が交代したら出してほしい。年度ごとの会員数の推移は従来どおり行う。グラフについては今後の検討事項とする。組織表について報告実数と全国報告数にかなり差がある。以前２会に入っている人がいるからとの話があったがかなり差があるので調査時期が違うのではないか。調査時期を合わせるよう改善したほうが良いのでは。過少報告していると思われてしまう。

全国には連盟費が入金された人数で報告。各会から年間を通じて入金された連盟費を集計して人数を割り出し報告している。報告実数は事務局長会議などで報告された人数の合計。その中に他会との重複者がいる。集計の日付を合わせるように改善できれば人数が合う。集計の時期により、人数の差異が生じている。

・対県要求

２０２４年度に向けての対県要求を取りまとめ７月に新日本スポーツ連盟に提出するので、今のうちから要求事項がないか会員に声をかけてもらいたい。

救助隊

夏は渡渉の講習会。秋は沢、ビバークとセルフレスキューの講習会。訓練山行は、夏は沢。冬はバリエーションルート。現在アルパイン志向の人達で構成されている救助隊だが、ハイキング系の人も参加してほしい。

教育部

・山岳講習協議会

県連内では公式の組織ではない。教育部の人数が少ないため各会の教育担当に呼びかけて参加してもらっている。アドバイザー的な立場で意見を出してもらっている。月１回第３木曜日に各会の教育担当から意見・要望を聞いて講習会などの検討をする。公式ではないが今後も継続して教育部を補完する組織として活動してもらう。まだ参加していない会からも出席してほしい。

・講習会

教育部員の人員不足。これまで救助隊が協力してきたが難しい。これから補充するにしても技術的な面で問題がある。講習会については外部講師も含め討議必要。

自然保護委員会

・クリーンハイク実施にむけて協議しているが水質調査を実施するか否か検討している。

第Ⅲ号議案　討議事項

・組織拡大

事務局長会議に出席していない会や、活動報告を提出していない会に対して働きかける。

・県連ホームページの活用

各専門部の情報は各部で担当者に更新してもらう事とした。

・教育体制の拡充

山岳講習協議会のメンバーをあらためて事務局長メール等で参加の呼びかけをする。会，個人に捉われず、連盟員として自由に意見を出してほしい。

・救助隊への要望。セルフレスキュー方法の学習機会。

ファーストエイド講習会に力を入れる。

・自然保護委員会　これからのクリーンハイクについて

クリーンハイクのマンネリ化は否定しないが大事なもので毎年やるものと思うが県連挙げての一大行事として捉えるのではなく、参加者やそれを見ている登山者に向けての広報活動として毎年行ったほうが良い。環境保護としても有力。攻めの姿勢としては環境保護の講演を聞いたりして山に関わる環境保護に役立てるよう視野を広げていくのも良いのではないか。

大型風力発電、太陽光発電、リニア新幹線工事等、なかなかすべての事に関わることはできないが注視していくことが大事。

・その他歴史や地質の勉強会

小野路の散策、山小屋企画、植樹など企画しているが大勢に参加してもらう通知の仕方を検討中。

資格審査　佐藤　修

定数２６名中　出席１２名、ズーム出席２名、委任状７名　合計２１名

過半数以上参加で定期理事会は成立

採決
Ⅰ号議案　上期活動報告　全員賛成で承認
Ⅱ号議案　下期活動方針と予算　　全員賛成で承認
　　理事補充　　全員賛成で承認

会長挨拶　渡辺
　全国連盟の評議会で労山全国連盟会員数が１６，８１４名になったと報告があった。労山は２００１年の２３，７７９名が最高の組織数。２０年間で６６７３名が減少。平均すると毎年３３３名減少。全国では２０２２年１８の会が脱退・解散した。脱退した会の会員数が３２５名。脱退の理由の多くは１４の会で高齢化から活動ができなくなった為。労山は全都道府県に連盟があったが秋田県が会員の減少で脱退した。神奈川県連は２０１２年６２９名から２０２２年５０９名　１０年で１３０名減少した。２０１８年に横浜ハイキングクラブが脱退したことが大きな要因。組織は常に新しい会員を増やさないと衰退する。県連では中堅の会が結構あったが今まで１５の会がやめていった。これから団塊の世代が会を離れていく状態になる。全国労山の６０代以上の会員は７割。神奈川県では平均年齢が５８．４歳で４番目に若い人がいる県連である。全国平均は６４．１５歳。全国より６歳くらい若いが何もしないでじっとしているとすぐに衰退してしまう。コロナも落ち着いてきたので組織拡大、増員に率先して動いて欲しい。

補足事項
　議案書中予算案につきまして、救助隊の予算書の年度が１年古い記載となっておりました。正しくは「２０２３年２月１日～２０２４年１月３１日」となります。お詫びして訂正させて頂きます。

事務局長会議議事録（ＺＯＯＭ）
日　時：３月１４日（火）２０：０５～２１：０３
出席者：久保（Ｍ＆Ｃ）、中村（やま＋＋）、木津（みずなら）、中嶋（みずなら）、遠藤（川崎労山）、大野（藤沢山の会）、永倉（相模ＡＣ）、神谷（ＡＣ川崎）
事務局：岩田（司会）、入木田、植田、谷内（記）

１）理事長から伝えたい内容（早川（欠））
　理事長から、下記の件（山岳講習協議会）を各会に伝えて頂きたい旨、連絡があった。
　「山岳講習協議会」教育部のアドバイザー的な位置付け。各会から参加者を募集。教育担当者を中心としているが、一般会員でも参加可。部会は毎月第３木曜日の夜。条件は継続的な参加の意思がある方。
参加連絡先：r10gsx-7th@rose.plala.or.jp

２）事務局部からの報告
●第３８期理事会について（担当：岩田）
　２０２３年３月１２日（日）開催。出席１６（ｚｏｏｍ参加３）、委任状７。連盟ニュース４月号に議事録掲載の予定。
課題
・理事名簿に遺漏のあったｚｏｏｍ参加者にＵＲＬが届いていなかった。今後理事名簿を精査する。
・予算案の表題が間違っていた。原因は担当者のミスによるものであり、今後事務局部で対策を講じる。
理事の変更
・新任理事（２名承認）、退任（２名、１名４月退任予定）
・理事は９月／３月の総会又は理事会で承認されて理事となる。期の途中では正式に理事にならないが、その期間「理事不在」という事態を防ぐ為、理事候補となった方は、９月／３月まで理事（候補）という位置づけにし、理事会等への参加を可能にしてはどうか。後日、常任理事会で検討する。

●連盟ニュース（担当：岩田）
県連ニュースの表紙（写真）担当会が下記のとおり決定した。

４月	川崎労山	５月	川崎ＨＣ	６月	柴笛クラブ
７月	ＡＣ横浜	８月	藤沢山の会	９月	小田原ナーゲル
１０月	相模ＡＣ	１１月	みずなら山の会	１２月	カモの会
１月	雪童山の会	２月	地平線の会	３月	やま＋＋
４月	メーグリ家	５月	Ｍ＆Ｃ	６月	Ｇｒａｚｉｅ
７月	SAWA MAFIA	８月		９月	

提出締め切りは、前月末日。表紙（写真）担当月における寄稿文提出は必須ではないが、積極的に寄稿文を提出して欲しい。

●メール関係（担当：入木田）
定期理事会が終了した為、新任理事をＭＬに加える。送信エラーが起きている SAWA MAFIA の理事の連絡先は、理事長に確認する。

●事故一報：報告無し

●ヒヤリハット（担当：谷内）
理事会以降の報告については、次回事務局長会議にて報告予定。

●会計（担当：丸山）：報告無し

３）専門部からの報告
●自然保護委員会
○２０２３／５／２８（日）丹沢クリーンハイク実施予定。
３月２７日１９時より第２回クリーンハイク実行委員会が県連事務所にてズーム併用で開催します。各会から実行委員の出席をお願い致します。
議題・・・各会のコースをお願いします。
ビラ・チラシ確認の後印刷を予定しています。

Ｑ）登山整備等実施する場合、全国連盟（労山）から補助が出るのではないかでないか？
Ａ）「登山道整備補助金」「ゲレンデ環境整備」として全国連盟への申請は可能（入木田）だが、現在スポ連関係から支援金が出ている。

●教育部
教育部長が３月で退任の為、理事長（早川）が兼任となる。

●救助隊
予定は、定期理事会の議案書参照。

●新日本スポーツ連盟（担当：植田）
２０２４年度に向けての対県要求を実施。下記スケジュールにて進行予定。

２０２３／３／１３	各会理事、事務局長、県連専門部宛要求書配付
２０２３／３～５月	各会、専門部の要求書の取りまとめ
２０２３／６～７月	常任理事会にて要求書作成
２０２３／７月末	新日本スポーツ連盟神奈川連盟へ要求書提出

・可能な限り具体的な要求を出していただけると、県側からも焦点を絞った回答が得られると思います。内容は具体的（場所、実施内容）にして欲しい。
具体例：サッカー場、卓球場等

４）各会からの報告
表の順番で会員数、ヒヤリハット、トピックスなどを報告

会名	出席者	会員数	トピックス
１　川崎労山	出（遠藤）	16	会として、理事は決まっていない→ よって、理事ＭＬが届いていなかった 会員数が減っているため、理事を選出出来ない
２　川崎ＨＣ	欠	－	－
３　柴笛クラブ	欠	－	－
４　ＡＣ横浜	出（神谷）	33 （休会者含）	深雪訓練を実施した
５　藤沢山の会	出（小野）	84	コロナ禍で実施出来なかった会行事を検討中

６　小田原ナーゲル	欠	－	－
７　相模ＡＣ	出（永倉）	47	会員２名増、５０周年の記念集会実施予定
８　みずなら山の会	出（木津）	37	お花見山行予定
９　さがみ山友会	欠	－	－
１０　カモの会	出（谷内（代））	60程度	創立３０周年。記念品作成予定
１１　雪童山の会	欠	－	－
１２　地平線の会	出（植田）	7	毎月バードウォッチングを実施予定 （ガイド：日本野鳥の会副会長）他会からの参加可
１３　やま＋＋	出（中村）	18	教育山行実施（ＲＣＴ、読図）
１４　山ブキの会	欠	－	－
１５　メーグリ家	欠	－	－
１６　M&C	出（久保）	25	２月１名入会
１７　銀嶺会	出（谷内（代））	5	会員がドラツーWCに参加
１８　Grazie	欠	－	－
１９　SAWA MAFIA	欠	－	－

５）その他

・みずなら山の会よりヒヤリハットの報告

アイスクライミング（三ツ峠）にて、ヒヤリハット発生。冬季はスマホのGPSを取り出すのがおくうになり、道迷いをしてしまった。

（以上）

２０２３年３月　クリーンハイク実行委委員会報告

日時：３月２７日(月)１９時～２０時

出席者（敬称略）：

＜対面での参加＞渡辺（相模ＡＣ）、関根、和田（みずなら山の会）、萩原（藤沢山の会）、磯部、伊藤、北野（地平線の会）、中村（やま++）、河合（川崎ハイキングクラブ）

＜リモートの不具合で参加できず＞、高橋（藤沢山の会）

１）一般公募について

（１）ちらしの作成スケジュール

＊原稿完成　３月３１日

＊印刷　　４月７日　合計１５０枚くらい（２）ちらしの配布

一般公募の為のちらしの配布について話し合った。

＊場所：　かもしかスポーツ（横浜）、好日山荘（横浜）、ヤビツのカフェ、大倉バス停の YAMA CAFE の横、カフェ轍（百合ヶ丘）新スポ神奈川県連月例マラソン（湘南、川崎、横浜）各会場

＊配布部数：各２０枚

＊担当：北野、伊藤、磯部、萩原、中村で配達。

＊別途、神大、ウオーキングクラブには郵送。新スポには県連事務所で渡す。

２）登山道整備

今年度は登山道整備ができることになった。パークレンジャーが２名参加。登山道整備には約２０名を受け付ける予定。

３）各山の会の参加コース希望について

４月の例会までに各山の会の希望参加コースを決めて、連絡してもらう。

＊クリーンハイク実行委員会に参加している山の会は実行委員が確認する。（相模ＡＣ、みずなら山の会、藤沢山の会、地平線の会、やま++、川崎ハイキング）

＊参加していない山の会には事務局長ＭＬ、理事ＭＬを通じて連絡してもらう。

４）その他

◆次回の自然保護委員会は４月２４日（月曜）１９時～２０時

自然保護委員　中村 潤一

2023年5月 東日本大震災復興支援ボランティア募集

東日本大震災から１２年　被災地復興支援のボランティアを募集します。宮城県連赤間会長よりも「東日本大震災の記憶を留める為にも一人でも多くの方に参加してほしい」との要望があります。ふるってご参加ください。

１．日　　時　　２０２３年５月１３日（土）～１５日（月）
２．活動場所　　宮城県石巻市水沼地区
３．活動予定
　１３日（土）
　　ＪＲ横浜線十日市場駅　７時３０分出発→石巻市水沼東部構造改善センター着
　　水沼到着後会場及び食事準備　（センター着前に食材買い出し）
　　夜…赤間会長、岡理事長を始めとする約２０名の宮城県連、石巻山の会の方々と交流会。食事片付け後、センター泊（寝袋使用）
　　◆集合・出発は配車地により多少の時間差があります。
　１４日（日）
　　朝食準備、朝食後センター厨房、宿泊箇所清掃
　　午前…水沼山にて、つつじ撫育・植樹作業。水沼山公園で昼食、地元ボランティアと交流
　　午後…福島県南相馬市に移動　≪宿泊先≫　民宿　森のふるさと
　１５日（月）被災地視察…南相馬市なみえ地区等福島第一原発周辺視察→帰路→十日市場駅着
４．交通手段　　自家用車で移動
５．参加費用　　約１５，０００～２０，０００円
　　交通費（ガソリン代他）・宿泊費用（水沼センター利用料及び食材費・民宿宿泊費）
　　昼食（13 日、15 日）は各自
６．持ち物　　シュラフ、マット（座布団利用も可）、軍手（作業手袋）
　　作業服（植栽作業するので着古した雨具が可）登山靴（長靴でも可）
　　着替え一式、防寒着、洗面具、日焼け止め、帽子他
７．連絡先および申込期日
　　連絡先　　自然保護委員会　渡辺三男　bosyuu_sizen@k-rouzan.net
　　申込期日　4 月 24 日（月）

神奈川県勤労者山岳連盟主催

第４４回丹沢クリーンハイク

2023 年 5 月 28 日(日)

丹沢に年に一度は恩返し！

クリーンハイクにさわやかな風が吹きます。ご一緒に歩きませんか。
クリーンハイクは普段とは違う思いで歩く登山。クリーンハイクの小旗をつけた私達に、多くの登山者が「ご苦労さま」と声をかけてくれます。ゴミは少なくなりましたが、ゴミのない環境はゴミを捨てない行動につながっていると思いました。（参加者の感想より）

【実施要項】

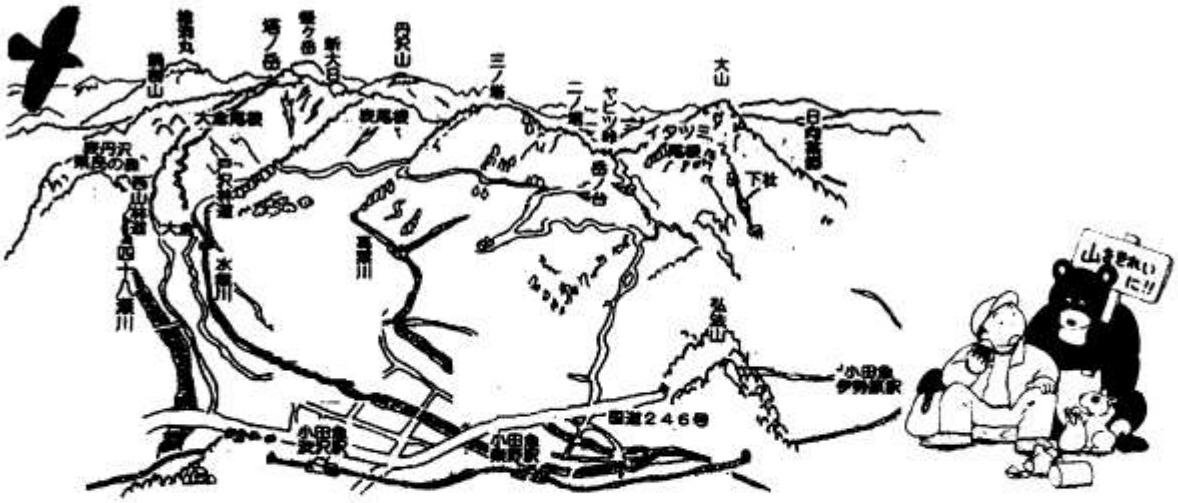
●集合場所／時間　①大倉バス停　8:00 受付開始　8:30 開会式
②ヤビツ峠バス停　8:30 受付開始　9:20 開会式
③伊勢原駅北口　8:00 受付開始　逐次出発

●持ち物・服装　軍手、ごみ袋は支給します。お弁当、水筒(飲料)、雨具他ハイキングの装備は各自で。
●雨天時の対応　前日(5 月 27 日)の 17 時横浜地方気象台発表(465-177)
当日午前中の県西部の予報で降水確率５０％以上の場合は中止します。

●申込先　(郵送) 〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川 2-14-16 トーリクビル３F
神奈川県勤労者山岳連盟　丹沢クリーンハイク実行委員会宛て
(メール) bosyuu_sizen@k-rouzan.net　ホームページ http://www.k-rouzan.net/
(電話取次) 045-534-5553（新日本スポーツ連盟神奈川県連盟）Fax.045-534-5554

【主催】 神奈川県勤労者山岳連盟
【後援】 神奈川県／丹沢大山クリーンピア 21／丹沢大山自然再生委員会
【協賛】 丹沢自然保護協会／丹沢ブナ党／丹沢ドン会／秦野の自然と環境を守る連絡会／伊勢原の自然と環境を守る会／尾瀬の自然を守る山ゆりの会／神奈川大学ワンダーフォーゲル部
ＮＰＯみろく山の会／新日本スポーツ連盟神奈川県連盟／神奈川ウォーキングクラブ

第44回　2023丹沢クリーンハイク



●クリーンハイクコース

集合場所時間	No.	コース名	清掃場所	ゴミ集積場所	歩行時間目安	体力
大倉	A	大倉高原	大倉ー大倉高原ー堀山の家	大倉	約4時間	一般向け
	B	大倉尾根(花立)	堀山の家ー花立山荘		約5時間	一般向け
	C	大倉尾根(塔ノ岳)	花立山荘ー塔ノ岳		約6時間	健脚向け
	D	鍋割山	二俣ー後沢乗越ー鍋割山		約6時間	健脚向け
	E	新大日	戸沢出合い ー 新大日		約5時間	健脚向け
ヤビツ峠	F	表尾根三ノ塔	二ノ塔ー三ノ塔ー大倉		約4時間	一般向け
	G	岳ノ台	ヤビツ峠ー岳ノ台	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	H	イタツミ尾根	ヤビツ峠ー大山		約3時間	一般向け
伊勢原駅	I	大山下社	下社ー大山		約3時間	一般向け
	J	大山下社(ケーブル)	ケーブル乗車　下社ー大山		約2時間	一般向け
	K	大山見晴台	下社ー見晴台ー大山		約3時間	一般向け
田代向駐車場	L	高松山	田代向ーはなじょうろ道ー高松山	田代向	約5時間	会員のみ

●登山道整備

ヤビツ峠	N	二ノ塔～三ノ塔	神奈川県自然環境保全センター　かながわパークレンジャーの指導で、登山道の補修を行います。(会員のみ)

※雨天時は、労山会員は大倉8時30分集合で西山林道、戸川林道、大倉尾根を清掃します。

●申込先・方法

(郵　送) 〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-14-16トーリクビル3F　　申込締切　5月15日(月)ま
神奈川県勤労者山岳連盟　クリーンハイク実行委員会宛

(メール) bosyuu_sizen@k-rouzan.net　　(ホームページ) http://www.k-rouzan.net/

●問合せ先　045-534-5533(新日本スポーツ連盟・取り次ぎ)

(切り取り)

2023年丹沢クリーンハイク・参加申込書

フリガナ		性別	生年月日(西暦)・年齢	希望コース
氏　名		女		
		男		
住所連絡先			緊急連絡先電話番号(ご家族など)	

※ご記入いただいた個人情報はクリーンハイクのみに使います。

常任理事会議事録（Ｚｏｏｍ）

日　時：４月２日（日）２０：００～２１：１０

出席者：早川・渡辺・植田・関根・岩田　入木田（事務局）

第３８期下期理事会３／１２について

〇議案書

・議案書 Ｐ１６救助隊予算２０２２→２０２３と訂正

〇議事録について

・誤記・誤植は岩田が訂正

・議事録そのままではよくわからない。要点をまとめてあらためて記録する。スポ連ニュース５月号にも転載　議長団・資格審査などを書き入れる。

・理事会でなにが問題になったかをまとめて発信する必要がある。

事務局長会議での確認事項

・川崎労山は理事がいないこと→常任理事会確認

・M&Ｃは４月に理事交替予定、県連理事会は９月に予定しているのでそれまで４月交替のM&Ｃ理事は理事候補というかたちで理事として活動で良いか→良い

・新理事カモの会の土屋氏の専門部は事務部で確認→常任理事会確認

各部より

〇救助隊＆教育部　訓練を実施した、室内と屋外。報告書はこれから作成。

〇自然保護

・クリハイ実行委員会たちあげて議論している、各会からの派遣をお願いしたい。クリハイは一般募集も行う、チラシ印刷して店舗や登山関連施設に掲示。月例マラソンにも宣伝。

・東日本大震災ボランティア募集、５月１３日（土）１４（日）１５（月）要項を作った。

次回の常任理事会は５／７（日）２０：００～　Ｚｏｏｍにて開催予定。

雪崩救助搬出訓練の模様（５ページ参照）

『松本雪崩裁判の真実』(泉康子著）の紹介

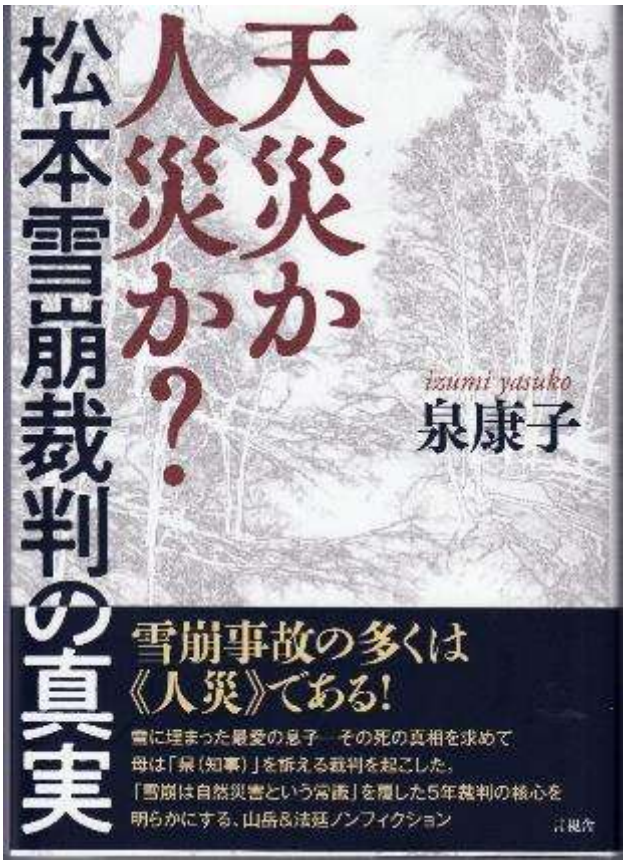
みずなら山の会　入木田

３４年前の１９８９年３月五竜遠見尾根での雪崩死亡事故の裁判を『いまだ下山せず』の著者泉康子さんの著書です。ノンフィクションとなっているように内容が過激なため３４ 年たってやっと発刊できたようです。当時は、この雪崩事故は自然災害として刑事事件にもならず遺族の母親の必死の訴えに周りが動かされ、当時雪崩講習会（注１）を実施していた労山に声がかかりました。 私も遠い記憶の中で遭難現場に行ったことを思い出しました。

ところが、このときの教訓がいかされないまま２０１７年那須の雪崩事故が起きてしまいました。いまだに雪崩教育を受けていない講師が雪上訓練の指導を行っていたことへの驚きでした弱層テストやスクラムジャンプテストのような簡単なテスト（注２）をしておれば防げた事故です。“雪山に入る前には、雪上訓練と雪崩講習を受けてから入るようしましょう。雪崩に対する警戒があいまいになってきている今、みなさんに読んでほしいと 思い紹介させていただきました。

（注１）雪崩講習会　1985 年正月神奈川県連の厚木岩つばめが横尾尾根で、柴笛クラブが鹿島槍で雪崩遭難がありました。岩つばめはすぐに救助されたものの２名の内１名が雪崩に埋まり死亡、柴笛は全員が行方不明になり県連をあげて捜索救助活動に参加し全国からも有志が参加して捜索活動が続けられました。このときの教訓から翌年五竜遠見スキー場で雪崩講習会を開き 33 名が参加しました。これを次いで全国雪崩講習会を開催することになったのです。

（注２）弱層テスト：安全なやや傾斜のある雪面でΦ３０ｃｍの円柱を掘り、手でたたいて安定度を見る。ジャンプテスト：雪面を桝形に掘って上部から侵入しジャンプして安定度も見る方法。弱層テストは、雪崩学習の初歩（初めの一歩）になります。



税込み@2750　ネットでも購入可

◇連盟ニュース◇　1985.2.12　NO. 10

かながわ

発行・神奈川県勤労者山岳連盟
〒220 横浜市西区平沼1-4-13
☎ 045-322-6556

川崎柴笛クラブ
鹿島槍6人遭難！

今一度、会活動の総点検を行い、教育・遭対活動の強化を！

12月31日 北アルプス横尾尾根・雪崩により厚木岩つばめ山岳会のリーダー・浦川吉則君が死亡、関根進君が重傷を負う

同日、鹿島槍ヶ岳東尾根オ・岩峰付近で消息を絶った柴笛クラブの村上薫、柴田康雄、井料正二郎、野村優、鈴木隆青治、清水栄治君ら6名を失うという深刻な事態に直面した。

県連盟では、柴笛クラブの要請に応え

の手がかりすら見つけることは、できませんでした。

明年、二つの会では、事後活動として事故報告書の作成、二次捜索活動の準備に入った。

県連盟としても この間の死亡事故を省みて、二度と同じ悲しみを味わうことのないよう、誤りを、くり返すことのないようにと機会あるごとに注意を、うな

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告　2023年 3月

活動報告送り先：ホームページの連盟員のページ

沢：沢、講習会：講	人数	形態	H:ハイキング、A一般登山、S雪山	人数	形態	SKI山スキー、R岩、氷 ｱｲｽｸﾗｲﾐﾝｸﾞ	人数	形態
川崎ハイキングクラブ　機関紙「りんどう」			http://kawasaki-hc.life.coocan.jp/					
報告：守口尚美　計90名（男43　女47　）　平均年齢68.歳								
2/17-18　戦場ヶ原スノーシュー／奥日光	11	S	2/26　御岳山・日の出山／奥多摩	9	A	3/5　日連アルプス／藤野	16	H
2/18-19　天狗岳／北八ヶ岳	5	S	2/26　四阿屋山／秩父	1	A	3/8　高取山・仏果山・経ヶ岳／丹沢	8	A
2/23　大楠山／三浦半島	30	H	2/26-3/1　阿寒湖周辺スノーシュー／北海道	6	S	3/10-12　八丈富士・三原山／八丈島	20	A
2/25　赤城山／群馬	4	A	2/27　曽我丘陵／小田原	8	H	3/11　草戸山／南高尾	9	H
2/25　城山／湯河原町	2	H	2/27　高麗山／大磯町	2	H	3/12　四阿屋山／秩父	5	A
2/25　小倉山／山梨	4	H	2/28　室内例会	23		3/12-15　古寺巡礼ウォーク／奈良	5	H
2/26　三浦アルプス／三浦	10	H	3/4　黒檜山／群馬	3	A			
銀嶺会(https://ginreikai101.wixsite.com/ginrei)								
報告：　計5名（男0　女5 ）　平均年齢								
3/4-5 上タケ沢	1+4	R	3/9 宝塚新岩	1+1	R	3/19-20 八甲田山　山スキー	1+3	S
3/4-5 白山三方崩山大ノマ谷第3岩稜	1+3	R	3/11-12 錫杖岳前衛フェース3ルンゼ	1+1	R	3/19 谷川岳　東尾根	1+2	S
3/4-5 杓子岳杓子尾根	1+1	R	3/11-12 二王子岳	1+1	S	3/21 御岳ボルダー	1+3	R
3/4 青葉	1+4	R	3/11 谷川岳一ノ倉尾根	1+2	R	3/21 足尾　松木沢ジャンダルム	1+2	R
3/5 源太ヶ城址	1+8	H	3/12 城ケ崎	1+2	R	3/21 鷹取山	1+6	R
地平線の会								
報告：植田米利子			計7名(女7名)　平均年齢64才					
3/9塔ノ岳	1	A	3/17秋ヶ瀬公園	4+4	H	3/22塔ノ岳	1	A
3/11広沢寺	1+2	R	3/20弘法山	5+1	H	3/29塔ノ岳	1	A
3/16塔ノ岳	1	A						
会名　みずなら山の会　ホームページ　http://www.mizunarayama.com/								
報告者　木津博子　　人数　36 名（男 21名・女 15名）平均年齢　65歳								
3/4　三浦アルプス	5+1	H	3/16　南高尾山稜	2	H	3/21　箱根 金時山	1+1	H
3/5　広沢寺清掃	5	清掃ハイク	3/19　丹沢　鍋割峠	7+1	バリ	3/21　矢倉沢往還	1	H
3/12　八ヶ岳　天狗岳	3	S	3/20　京都トレイル	1	H	3/28　丹沢　丹沢山	1	A
3/12　丹沢　塔ノ岳	3	A	3/21　丹沢　大山	2+1	H	3/29　高尾山	1+2	H
3/14　丹沢　塔ノ岳	1	A	3/21　湘南鷹取	1+2	R			
小田原ナーゲル山の会　機関誌：　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.nagel.jp								
報告者：菊地　智　計21名（男13　女8）　平均年齢　61歳　（2022/10月現在）								
2/27 明神ヶ岳/箱根	1	A	3/12 幕岩	1+1	R	3/19 矢倉岳（地蔵堂から）	2	A
3/4【冬の定例山行】 高ボッチ・鉢伏山縦走	4	S	3/12 竜門岳/近畿 （吉野運動公園から）	1+1	A	3/19 武尊山(川場スキー場から)	3	S
3/11 三峰山/近畿 登尾登山口から不動滝登山口へ	1+1	A	3/12 倶留尊山/近畿 （曽爾青少年自然の家から）	1+1	A	3/23 右田ヶ岳/中国山地 （天徳寺コース入口から）	1+1	A
3/11 高見山/近畿 （たかすみ温泉駐車場から）	1+1	A	3/16 大山（蓑毛から不動尻まで）	1	A	3/24 久住連山（牧ノ戸登山口から）	1+2	A
3/11 丸太の森	1	T	3/18 丸太の森 （イコ丸パークトレイルレース参加）	1	T			

やま++　http://yamaplapla.sakura.ne.jp								
報告: 計17 名（男10女7 ）　平均年齢61.5歳(23/3/31現在)								
３／４　丹沢懸垂岩　岩トレ	6	岩トレ	３／５　丹沢　畦ヶ丸マイナー読図	8	A	３／７　大菩薩　甲州高尾山	3	H
３／９　大菩薩　滝子山	3	H	３／12西上州　大桁山、鍬柄山	1/2	A	３／14　奥秩父　四阿屋山	3	H
３／19　上州武尊山	3	S	３／19　上信越　タカマタギ山	2/10	S	３／21　奥多摩　大岳山海沢探勝路	5/1	H
川崎勤労者山岳会　機関誌:「あざみ」　http://sangakukai.wix.com/kawasakirouzan								
報告:田中良子　計18名（男12女6）　平均年齢56.0歳								
3/3-3/5妙高	3	SKI	3/12鷹取山	4	R	3/21三岩山～会津駒ヶ岳	3	S
3/4神楽峰	2	SKI	3/14神楽峰	1	SKI	3/26守門岳	5	S
3/5三本杉山-甚之函山	3	H	3/15八海山スキー場	1	SKI	3/27神楽峰	1	SKI
3/5西穂高岳	3	S	3/18みつまたスキー場/清津川河川敷	3	S	3/29神楽峰	2	SKI
3/9大山三峰	1	T	3/19赤岳主稜	2	R			
3/11奥多摩つづら岩	3	R	3/18黒斑山	3	S			
アルパインクラブ横浜	http://acy.jpn.org/							
報告:美馬　文香	計29名（女8名,男21名）　平均年齢:45歳							
3/2御岳(ボルダ―)	1	R	3/11四阿山	2	S	3/19城ヶ崎	2	R
3/4高尾山	1	A	3/12宝剣岳 サギダル尾根	2	S	3/19広沢寺	1	R
3/7赤岳主稜	1	S	3/12城ヶ崎	3	R	3/21二子山中央稜	1	R
3/9御岳(ボルダ―)	2	R	3/18-19みつまた下エリアとタカマタギ	2	講	3/21谷川岳（天神尾根）	1	S
3/10-11五竜岳	1	S	3/18-21北海道層雲峡	1	R	2/26越後駒ケ岳（BC）	3	SKI
3/11錫杖岳	1	R	3/19湯河原幕岩	3	R	2/30瑞牆山	2	R
SAWA MAFIA								
報告:畑秀信　計9名（男8　女1）								
3/1湯川	2+2	R	3/6～5南八ヶ岳	1+4	R	3/13徳島県阿南市高崎山南壁	1+2	R
3/2～3八ヶ岳･大同心稜、阿弥陀北稜、赤岳南峰リッジ	1+1	R	3/11城山	1+3	R	3/18～21小豆島　吉田の岩場、インスボン、拇岩	2+6	R
3/4城山	1+3	R	3/11岐阜県石徹白 蝉ヶ岳　西南西斜面	1	SKI	3/19谷川岳一の倉沢1の沢右壁左方ルンゼ	1+1	R
3/4～5岐阜県神岡町和佐府ゼッコの北斜面と標高1690m地点付近からの南西尾根	1+2	SKI	3/12巻機山	1+3	SKI	3/19御嶽山継子岳 標高2780mからドロップ ぼくらのライン	1+3	SKI
M&C（マウンテニアリングアンドクライミング）　http://mandc.moo.jp/								
報告:　計23名（男18　女5 ）　平均年齢50.4歳								
3/1 鷹取山(横須賀市)	1+1	R	3/11 爺が岳～鹿島槍ヶ岳	1	S	3/19 河又	1+1	R
3/4 谷川岳	1	S	3/8 鷹取山(横須賀市)	1+1	R	3/19 二子山	2	R
3/4～3/5 甲斐駒ヶ岳	1	S	3/10～3/12 上高地　中千丈沢	5	氷	3/19 湯河原幕岩	1+2	R
3/4～3/5 谷川岳	1+多数	講	3/11～3/12 谷川岳/一ノ倉尾根	2+1	R	3/19 鷹取山(横須賀市)	1+1	R
3/3 八ヶ岳（角木場/奥河原）	1+1	氷	3/11～3/11 城山 ワイルドボア 周辺	1+2	R	3/19 八方スキー場	1	S
3/4～3/5 谷川岳（一ノ倉沢二ノ沢右壁）	2	R	3/11～3/12 二子山	2	R	3/20 四阿山、根子岳	1+1	S
3/4～3/5 八ヶ岳（南沢大滝、赤岳主稜）	1+3	R	3/12 城ヶ崎ボルダー	1	R	3/20 黒岩	1	R
3/3 八ヶ岳（角木場/奥河原）	1+1	氷	3/12 鷹取山(横須賀市)	1+1	R	3/21 城山（ワイルドボア）	1+1	R
3/4～3/5 青葉	2+3	R	3/12～3/12 伊豆/城ヶ崎海岸	2+1	R	3/21 足尾／松木沢	2+1	R
3/4～3/5 湯河原幕岩	1+4	R	3/15 広沢寺	1	R	3/21 唐松岳	1	S
3/4 舞子スノーリゾート	2	S	3/15 鷹取山(横須賀市)	1+1	R	3/21 アヤメ平	1	S
3/5 茂倉岳	1	S	3/17 鷹取山(横須賀市)	1+1	R	3/21～3/22 二子山	2	R

3/5 守門大岳	2	S	3/18～3/19 新潟ミツマタスキー場、タカマタギ	2+多数	講	3/21 湯河原幕岩	1+1	R
3/5 鷹取山(横須賀市)	1+1	R	3/19 谷川岳（東尾根）	2+1	R	3/22 鷹取山(横須賀市)	1+1	R
3/7～3/8 山梨南部（篠井山～白鳥山）	1	H	3/19 唐松岳	1+5	S	3/24 鷹取山(横須賀市)	1+1	R
3/7 湯河原幕岩	1	R	3/19 守門岳	1+2	S	3/25～3/26 鹿島槍ヶ岳北壁/氷のリボン	1+1	R
3/8 巻機山	1+2	S	3/19～3/19 奥三河（面の木園地～岩古谷山）	1	T	3/27～4/1 備中	2	R
3/8 鷹取山(横須賀市)	1+1	R	3/20～3/20 奥三河（四谷千枚田～岩古谷山）	1	T	3/30 鷹取山(横須賀市)	1+1	R
相模アルパインクラブ　https://sagami-ac.sakura.ne.jp/								
報告：山行管理部　計47名（男28名 女19名）　平均年齢 54歳								
3/4 細川橋～菰釣山～山中湖	3	A	3/10-12 爺ヶ岳東尾根、鹿島槍ヶ岳	4	S	3/20-21 浅間山前掛山	1+1	沢
3/4 大山三峰山	1	A	3/11-12 八ヶ岳 小同心ｸﾗｯｸ	1+4	SR	3/20-21 唐松岳	1+3	S
3/4 大山南稜	1	A	3/11-12 八ヶ岳旭岳東稜	2	SR	3/21 丹沢 大棚沢	2+1	沢
3/4 湯河原幕岩	3	R	3/12 醤油樽の滝、南沢大滝	2	氷	3/21 八ヶ岳 南沢大滝	1	氷
3/4 丹沢 高松山	1	A	3/12 大山南稜	1	A	3/21 丹沢三峰	1	A
3/4-5 赤岳西壁主稜	3	SR	3/12 奥多摩 高黒岩	2+1	R	3/21 屏風岩山	1+1	A
3/5 大津 湖南ｱﾙﾌﾟｽ、天神川周辺岩場	1+1	R	3/12 湯河原幕岩	2	沢	3/21 蛭ヶ岳(市原新道)	1	A
3/6-7 城ヶ崎、城山	4+1	R	3/14 甲府兜岩	2	R	3/25 東近江 延命公園ﾎﾞﾙﾀﾞｰ	1+1	R
3/7 湯河原幕岩	1+1	R	3/16 広沢寺	1	R	3/28 甲府兜岩	1+1	R
3/11 二子山中央稜	4	R	3/19-21 戸隠P1尾根	2	SR	3/27-28 瑞浪屏風岩	1+4	R
3/11 セドノ沢、ﾅｶﾞﾚﾉ沢	1	沢	3/18-19 タカマタギ(雪訓)	6	S	3/29 城山ワイルドボア	1+3	R
3/11 檜洞丸	1	A	3/19 丹沢モミソ岩(ｾﾙﾌﾚｽｷｭｰ訓練)	21	R	3/30 甲府兜岩	1+1	R
3/11 広沢寺	1+2	R	3/20 湯河原幕岩	2	R			
藤沢山の会　機関誌：「稜線」　http://fujisawa-yamanokai.com								
報告：大野淳子　計83名（男：32、女：51）　平均年齢66歳								
3/1南山	4	H	3/12権現山～ミツバ岳	3	H	3/25葛葉川本谷沢登り→雨のためJウオールジム練習に変更	6	R
3/1幕山	6	R	3/14荒崎・潮騒の道	6	H	3/27城ケ崎魚火ロック	5	R
3/3城ケ崎富戸	4	R	3/14鷹取山～鎌倉	3	H	3/27真鶴半島	5	H
3/3赤ぼっこから吉野梅の公園	5	H	3/15湯河原幕山	6	R	3/29城ケ崎富戸魚火ロック	8	R
3/4信仰の山 栃木三峰山	5	A	3/16小倉山・塩の山	4	H	3/29釜伏山	4	H
3/4鉢窪山	3	H	3/17箱根外輪山縦走	2	A	3/29千代田アルプス	5	H
3/4大山三峰	2	H	3/19大山女坂イタツミ尾根	1	H	3/29五感の森　八重山	3	H
3/4幕山	2	R	3/19花じょろ道から高松山	8	H	3/30石砂山・石老山　下見	5	H
3/4城ケ崎クラック	5	R	3/19高尾山	3	H	3/30棚場山　南無妙山　魂ノ山	6	H
3/5広沢寺の岩場清掃集会＆クライミング	3	R	3/21大山三峰山（境界尾根～三峰山～白滝沢下降）	5	A	3/5~7摩耶山、六甲最高峰	5	H
3/7青根～蛭が岳	4	A	3/21三ノ塔～ヨモギ尾根	10	H	3/11~12豆山稜線歩道	2	A
3/9鎌倉十二所神社～番場ヶ谷～天園	3	A	3/21大山三峰	5	H	3/18~19県連救助隊雪崩捜索訓練、タカマタギ訓練山行	16	S
3/11八王子城山	4	H	3/22幕山クライミング	5	R	3/18~19西穂高岳	2	S
3/11上野原・四方津御前山三山	10	A	3/24湯河原幕山	4	R	3/23~4/3熊野古道200キロ	6	H
3/12八重山・五感の森	6	H	3/24大山	3	H			

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

	人数	形態	H:ハイキング、A一般登山、S雪山	人数	形態	SKI山スキー、R岩、氷 ｱｲｽｸﾗｲﾐﾝｸﾞ	人数	形態
山岳会　カモの会			http://www.kamonokai.com/hp/index.html					
報告:カモの会事務局　計57名			（男34　女23 ）　平均年齢42.6歳					
03/02 摩利支天大滝アイス	2+1	氷	03/11 谷川岳 一ノ倉尾根	1+2	R	03/18 大源太山	3	S
03/04 杓子岳 杓子尾根	2	S	03/11 朝日岳･大烏帽子山	1+4	SKI	03/18 本仁田山と川苔山	1	H
03/04 根石岳?硫黄岳?横岳	4	S	03/11 古賀志山	1+1	R	03/18 白馬スキーツアー	1+3	SKI
03/04 城山ワイルドボア	2	R	03/11 爺ヶ岳東尾根	2	S	03/18 城山	2	R
03/04 妙高スキーツアー	1+1	SKI	03/11 瑞浪(	1+1	R	03/18 みつまたスキー場　タカマタギ	+14	S
03/04 天狗岳	1+3	S	03/11 城山	1+2	R	03/19 日光白根山	1+5	S
03/04 八ヶ岳縦走	2	S	03/11 大高取山＆越生梅林	1+3	H	03/19 稲子岳	1+2	R
03/04 黒斑山	1+1	S	03/11 小川山	1	R	03/19 みかも山	1+1	H
03/04 湯河原幕岩	2	R	03/11 神戸の岩場	1+1	R	03/19 谷川岳 東尾根	1+2	R
03/04 城ヶ崎(	1+1	R	03/12 焼岳	1+2	S	03/19 城ヶ崎	2+1	R
03/05 北八ヶ岳	3+1	S	03/12 幽ノ沢V字状岩壁	1+1	R	03/19 大室山	1+1	A
03/05 神戸フリー	1+1	R	03/12 有笠山	1+1	R	03/20 九州の岩場、中国･四国、中部の岩場	1+1	R
03/11 常念岳　東尾根	1+2	S	03/12 城ケ崎	1+2	R	03/21 有笠	2+1	R
03/11 城山	9	R	03/16 御前岩	1+1	R	03/21 足尾銅山 松木沢ジャンダルム	1+2	R
03/11 北横岳	1+2	S	03/17 城ケ崎海岸	1+1	R	03/21 二子山西岳中央稜	2	R
03/11 爺が岳東尾根	3+1	S	03/18 南伊豆遊歩道	4	H	03/22 唐松岳	1+2	S

全国・県連スケジュール

日	曜	４月	日	曜	５月	日	曜	６月
1	土	April fool	1	月		1	木	
2	日	常任理事会	2	火		2	金	
3	月		3	水		3	土	
4	火		4	木		4	日	常任理事会
5	水		5	金		5	月	クリーンハイク実行委員会
6	木		6	土		6	火	
7	金		7	日	常任理事会	7	水	
8	土		8	月		8	木	救助隊運営会
9	日		9	火		9	金	
10	月		10	水		10	土	
11	火	事務局部会	11	木	救助隊運営会	11	日	
12	水		12	金		12	月	
13	木	救助隊運営会	13	土		13	火	
14	金		14	日		14	水	
15	土		15	月	自然保護委員会	15	木	教育部会
16	日		16	火	事務局長会議 ・事務局部会	16	金	
17	月		17	水		17	土	
18	火		18	木	教育部会	18	日	
19	水		19	金		19	月	
20	木	教育部会	20	土		20	火	
21	金		21	日		21	水	
22	土		22	月	ｸﾘｰﾝﾊｲｸ実行委員会	22	木	
23	日		23	火		23	金	
24	月	自然保護委員会	24	水		24	土	
25	火		25	木		25	日	
26	水		26	金		26	月	自然保護委員会
27	木		27	土	水質調査・前夜祭	27	火	
28	金		28	日	クリーンハイク	28	水	
29	土		29	月		29	木	
30	日		30	火		30	金	
			31	水				